

自然海浜保全推進事業（環境学習）

1 事業の概要

砂浜や岩礁等の自然の海岸環境は、海水浴や潮干狩りなど我々が海と触れ合う場として貴重な環境であり、瀬戸内海環境保全特別措置法や岡山県自然海浜保全地区条例に基づき一部の海岸が保全地区に設定されています。今回、県内の親子を対象に自然海岸等を活用した体験型学習イベント「海の生き物調べ隊 in 西脇海岸」を開催し、生物の採集や観察、漂着ごみの回収を通じて、海岸環境の保全や3R及び廃棄物の適正処理への理解を促進するとともに、海への継続的な関わりのきっかけづくりを図りました。

2 令和6年度実績

学習会は、9月29日と10月14日に瀬戸内市牛窓町内の西脇海岸で開催し、抽選によって選ばれた7組22名、6組21名が生物の採集や観察、漂着ごみの回収に取り組むとともに、温暖化や海の貧栄養化、海ごみの現状について学びました。学習会後に実施したアンケートでは、「海の生き物を守るために自分たちにできること」との設問に対し、9割の参加者から「ごみの削減や分別」との回答があり、ごみ関連の活動は、身近で容易な取組として参加者の関心の高さが窺えました。

＜磯場での生物の採集及び観察＞



＜回収した漂着ごみ＞



＜指導員による生物の説明＞



＜海ごみ問題の学習＞



【担当部署】 環境文化部 環境管理課 水環境湖沼保全班